

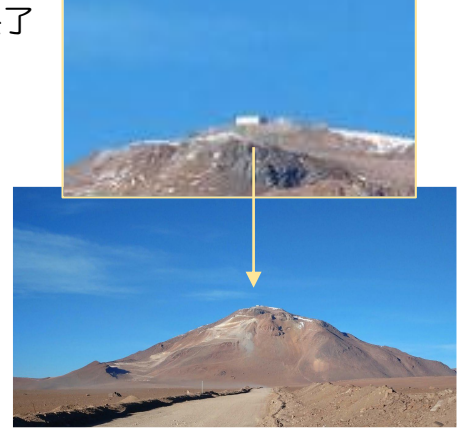
# 東京大学アタカマ天文台（TAO）プロジェクト進捗報告

2023/03 光赤天連総会

- 口径6.5m光赤外線望遠鏡をアタカマの世界最高地点（5,640m）に建設
- 赤外線の高い窓を活用し、宇宙論から太陽系まで広範なサイエンスを実施
- 次世代を担う大学院生・若手育成を重視し、サーベイ・萌芽的研究を推進

## □ 現地工事進捗

- 2021年11月からTAOサイトでの建設工事を本格化
- エンクロージャーは下部鉄骨、山頂運用棟は外装工事まで終了  
平行して電気機械設備工事も実施
- 2023年3月には100人体制で工事・組み立てを進める



## □ 望遠鏡・観測装置準備

- 望遠鏡主鏡・PMCのチリへの輸送は12月に完了  
これで望遠鏡架台・蒸着窯など全ての大型部品が到着
- MIMIZUKU, NICEは日本で調整中
- SWIMSのすばる望遠鏡でのPI装置運用もS22Bで完了  
日本へ輸送し、TAO搭載の準備を進める
- 可視高速カメラも開発をスタートする



## □ 観測運用に向けた準備

- 国内枠科学諮問委員会（SAC）を4回実施  
国内枠の使い方、応募方法などについて議論
- 国立天文台と協力協定を更新  
ハワイ観測所からもプロポーザル応募で協力をいただく  
→ S24Aでの国内枠公募開始を目指す  
6月ごろに説明会などを企画



## □ 本学会での発表

- V208a 東京大学アタカマ天文台 TAO 6.5m望遠鏡計画 進捗報告 2023 宮田隆志（東京大学）
- V209a TAO 6.5m 望遠鏡用近赤外線観測装置SWIMS：すばる望遠鏡での共同利用運用報告  
小西真広（東京大学）
- V210a TARdYS の検出器システム性能評価 穂満星牙（東京大学）